

大腸CT検診のご案内

大腸腫瘍の発見を目的とした
大腸内視鏡に準ずる検査です

大腸検査の負担軽減
に有用です

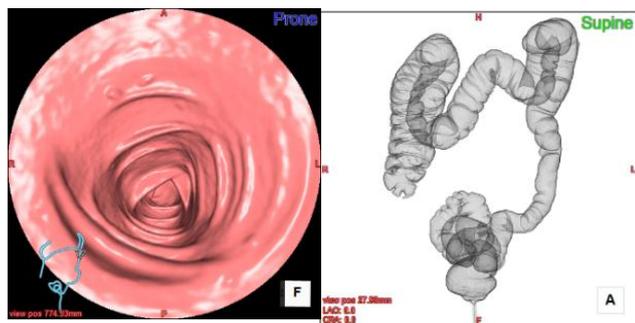


大腸CT検査とは

大腸CT検査は、内視鏡を使わない新しい大腸検査です。

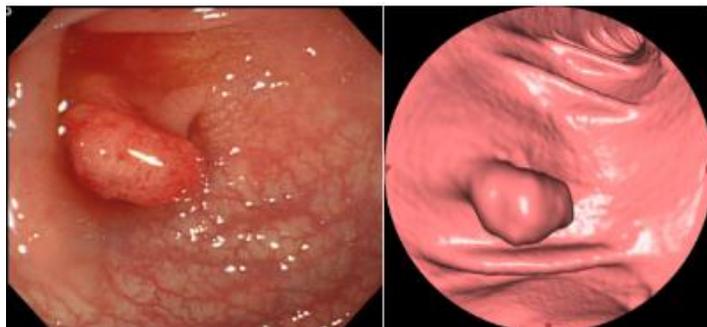
炭酸ガスによって拡張させた大腸を新型マルチスライスCT装置で撮影し、画像解析装置を用いて大腸3次元画像を構成することで大腸病変を診断します。

大腸内視鏡検査が困難な方や、大腸内視鏡検査定期観察の補助などに特に有用です。



3次元画像で大腸
内部を精査

位置関係も立体的
に把握



大腸内のポリープ
左：大腸内視鏡

右：大腸CTの仮想内視鏡像

メリット

- 大腸内視鏡の挿入が困難な方でも検査が容易。
- 下剤の量が少なく身体の負担が少ない。
- 体外からの撮影であるため苦痛が比較的少ない。
(検査時間15分程度)
- 鎮静剤鎮痛剤などが不要で検査後の生活に影響が少ない。
- 3次的に観察するので病変の位置関係がわかりやすい。
- 大腸穿孔など検査の偶発症が内視鏡より少ない。

デメリット

- 異常が発見された場合、内視鏡検査が必要になる場合がある。
- 病変の色調、微細構造の観察や、組織の採取はできない。
- 平たい病変の検出は内視鏡が勝る。
- レントゲン被ばくがあるので妊娠可能性のある方は検査できない。
(低線量撮影で検査しています)

料金 (税込み)

32,400円

日時

水曜日 8:30~10:00

ご予約・お問い合わせ

健康医学センター

045-895-8370 (直)

平日 13:00~17:00